

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	年に1回第三者委員との勉強会を開催しています。勉強会には法人の顧問弁護士も同席し、活動について説明しています
	内容	第三者委員には高齢者施設の管理職職員に依頼し、利用者主体の視点を持って活動してもらっています。利用者との話し合いは勿論、職員とも率直な意見交換ができています。日常の活動に加えて、年に1回、法人の顧問弁護士も同席しながら、第三者委員、弁護士、職員、利用者との勉強会を開催し、より相談しやすい関係の構築に努めています。利用者へは第三者委員、顧問弁護士共に連絡先などを掲示し周知しています。
2	タイトル	一人ひとりを大切にするという理念の具現化のため、日常生活の中での関わりから利用者・家族の意向の把握に努めています
	内容	支援に関する利用者の希望・要望は、年二回の個別面談や、毎日の「日誌」(連絡ノート)と毎日の日常的な関わりの中で把握しており、それらを個別支援計画に反映させています。面談内容は面談記録で全職員が確認し、毎日の「振り返り」では、職員それぞれの利用者についての気付きを、どんな小さなことでも共有するように努めています。コミュニケーションの不得意な利用者との意思疎通や、家族への配慮などが、これらのヒヤリングの機会を通じて、効果的に実現されています。
3	タイトル	利用者の自発性を大切にし、一人ひとりのできる事を伸ばしていく支援の提供を行っています
	内容	当事業所は「できないと決めつけしないで、できる事を伸ばしていく」と言う利用者のストロングポイントに視点を当て、選ぶ機会と自発性を大事にした支援の体制があります。就労継続支援B型のパン製造作業は利用者の意向を大事にして、したい作業を自発的に申し出てもらい取り組んでいます。利用者の希望が重なった場合は、利用者話し合える限り希望に添うようにしています。生活介護支援の活動も、利用者が何に興味・関心を持っているか家族からの情報や行動観察を行い、利用者がしたい事を自分で選んで取り組める活動を設定しています。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	地域に根差す開放的な事業所としての侵入・防犯マニュアルの整備に期待します
	内容	うさぎとかめはとても開放的であり、近隣の住民の方もパン購入に訪れます。反面、侵入については無防備であることは否めません。危機管理の各種マニュアルは整備されていますが、侵入・防犯についてのマニュアルはまだ整備されていません。神奈川の入所施設での痛ましい事件を契機として、地域と共にある福祉施設としての侵入・防犯対策への取り組みをマニュアル化することに期待します。
2	タイトル	ホームページの定期的な更新が望めます
	内容	より多くの方へ情報の発信を行うため、平成26年4月にホームページを公開しました。「一人ひとりを大切に」をスローガンとして掲げ、法人の理念や方針がわかりやすく説明されています。実施している五事業それぞれの内容がページ毎にわかりやすく構成されています。また、作業活動や、行事などの様子が写真を使って示されており、視覚的にも伝わりやすい内容となっています。しかし、写真など、公開当時のままのものもあるため、記事内容とともに定期的な更新が望めます。
3	タイトル	利用者の増員に見合った作業場の拡大と、作業種の開発、提供の早急な解決が望めます
	内容	就労継続支援B型利用者の作業はパン工房で行われ、主にパン製造と販売に取り組んでいます。しかし、利用者が増えた事でパン製造の作業場が手狭になり、利用者数に見合った作業の提供が難しくなっています。対策として、パン工房にカフェを開き販売や接客等の仕事を増やしましたが、それでも作業の振り分けが間に合っていない状況があります。作業場所の拡大と作業種の開発で、利用者が力を十分に発揮して活躍できる環境の確保が早急に望めます。